

ごあいさつ

Greetings



RKB毎日放送は、1951年のラジオ開局、1958年のテレビ開局以来、電波という強力なメディアを通して、常に地域文化をリードし、エリアの皆様にも親しまれてきました。

2006年7月には、九州民放界の先駆けとして、地上デジタル放送を開始し、さらに魅力的なメディアに脱皮しました。

そして今、本格的なデジタル時代に突入し、新規メディアとの間で淘汰をかけた厳しい競争時代を迎えています。RKBは最終的に「選ばれるメディア」となるよう、持続的な変革に挑戦していきます。

その活躍の場は、単に福岡・九州に留まらず、アジアを視野に入れています。また業務領域も、放送を軸にした総合コンテンツ事業へと拡大しています。

この放送の持つ無限の可能性に向かって、共に挑戦しようではありませんか！

気概ある若者に、RKBの扉は、大きく開かれています。



代表取締役社長
井上 良次

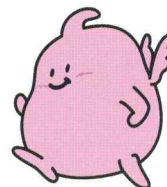


社名	RKB毎日放送株式会社 (RKB MAINICHI BROADCASTING CORPORATION)
住所	〒814-8585 福岡市早良区百道浜2丁目3番8号 [2-3-8 MOMOCHIHAMA,SAWARA-KU,FUKUOKA CITY JAPAN 814-8585]
電話番号	(092)852-6666(代表)
代表者	代表取締役社長 井上 良次
設立	2016年4月1日(認定放送持株会社移行による吸収分割のため商号変更)
放送開始	<ラジオ> 1951年12月1日 <テレビ> 1958年 3月1日
資本金	1億円((株)RKB毎日ホールディングス100%出資)
事業内容	(1)放送事業 (2)放送番組の企画、制作、販売 (3)音楽、美術、映画、演劇、芸能、科学、スポーツ等各種催物の企画、製作、販売及び興行
東京支社	〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目15番10号 菱進銀座イーストミラービル内 TEL.03-3546-2501
大阪支社	〒541-0041 大阪市中央区北浜4丁目1番21号 住友生命淀屋橋ビル内 TEL.06-6202-8231
北九州支社	〒802-0081 北九州市小倉北区紺屋町13番1号 毎日西部会館内 TEL.093-531-0931
バンコク支局(タイ)	11th FL.,Abdulrahim Bldg., 990 RAMA 4 Rd.Silom Bangkok,10500 THAILAND
ソウル支局(韓国)	8F,YTN Newsquare Bldg.,76 Sangamsan-ro,Mapo-gu Seoul, Republic of KOREA



交通機関

- 福岡都市高速百道ランプから2分
- 福岡市営地下鉄藤崎駅より徒歩20分
- 西鉄バス福岡タワー南口前



+rkb ^{プラス} **「+」** 寄りそう つながる 広がる

RKB毎日放送は、『新たな付加価値・コミュニケーションを提供する存在でありたい!』
『常にエリアと共にあり、温かくやさしい未来を実現するパートナーとして貢献したい!!』と考えます。
これらの強い意志を「+」に込め、テレビ開局50周年を迎えた2008年にロゴマークを刷新しました。

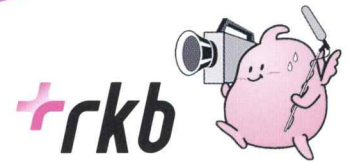
小文字の「rkb」には、「創立時の原点に戻り、再び成長する」という思いを託しています。

以来、放送をはじめとする様々な関連事業で「+」を体現すべく、日々取り組んでいます。

1951年	6月29日	(株)ラジオ九州設立、資本金5000万円
	12月 1日	ラジオ本放送開始(西日本初、民放4番目)
	12月15日	大阪支社開設
	12月20日	東京支社開設
1955年	12月 1日	北九州支社開設
1958年	3月 1日	テレビ本放送開始
	3月30日	RKB放送会館竣工
	8月20日	西部毎日テレビジョン放送(株)と合併、新社名「アール・ケー・ビー・毎日放送(株)」に
1964年	10月 1日	資本金5億6000万円に増資 福岡証券取引所に株式上場
1966年	4月 3日	テレビ、カラー放送開始
1972年	7月 1日	福岡ラジオ放送所、和白に移転(日本初の海上送信塔)
1993年	6月14日	福岡テレビ放送所、福岡タワーに移転
1995年	2月 6日	北九州ラジオ放送所、若松区響町に移転
1996年	7月 1日	本社を“シーサイドももち”の新放送会館に移転
2006年	7月 1日	地上デジタル放送開始
2009年	6月26日	社名をアルファベット表記に変更「RKB毎日放送株式会社」
2011年	7月24日	アナログ放送終了、完全デジタル放送化
2016年	4月 1日	認定放送持株会社 (株)RKB毎日ホールディングスへ移行 放送事業をRKB毎日放送(株)に承継

テレビ

Television



地域一番局としてエリアの皆様親しまれる、そして信頼されるテレビを目指し、各種の番組を制作しています。開局当初から、ニュース・スポーツとドキュメンタリーの制作がRKBの2本柱となってきましたが、近年はより地域密着性の高い街・人・暮らしなどをテーマにした生活情報番組にも力を入れています。RKBはエリアの皆様質の高い番組を提供することこそが使命と考えています。



1951年12月1日、西日本で初めて、全国で4番目の民放ラジオ局として産声をあげて半世紀余、リスナーの皆様とともに歩んで来ました。全番組の約7割が自社制作で、そのほとんどが生放送のワイド番組です。「ナマでワイドでローカルで」が合い言葉。更に2016年4月からは福岡県内のほぼ全域でFMでも聴取が可能となりました。ラジオのもつ機動力を生かして、エリアの隅々まで足を運び、手作りの発信をしています。



聴いてよかった。

RKBラジオ

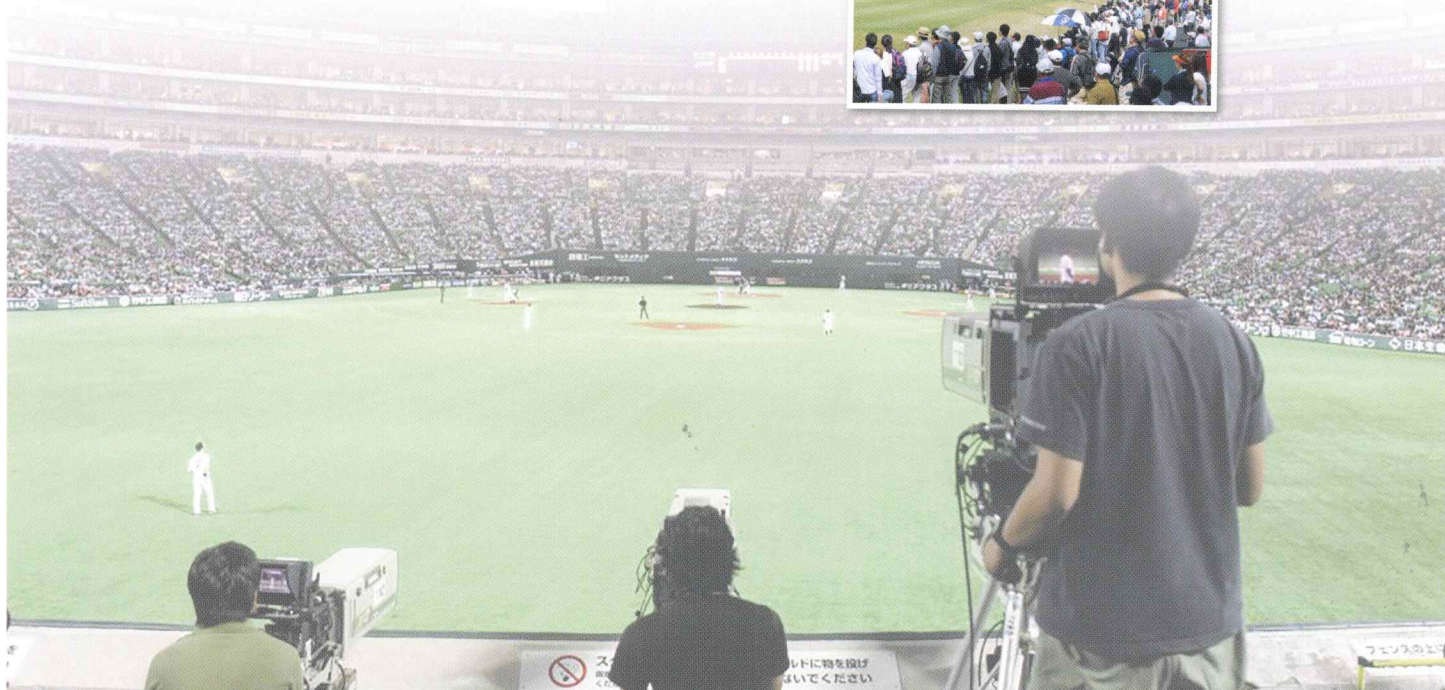
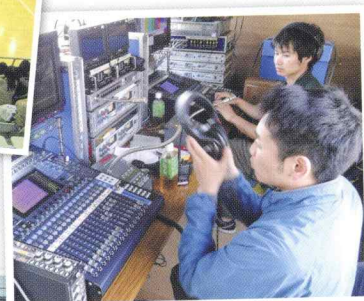
Radio

ラジオ

福岡・九州はスポーツ王国であり、それを伝えることも使命の一つです。福岡ソフトバンクホークスのテレビ・ラジオの中継をはじめ、マラソン、駅伝、ゴルフ、サッカー、ラグビー、バレーボールはもちろん、柔道、新体操、バドミントン、水泳、空手とあらゆるジャンルのスポーツの感動をローカルだけでなく、全国にも発信してきました。

また、ローカル局では珍しくロードレース用の小型中継車や小型カメラを搭載したバイクを保有し、ロードレース中継を得意としています。ローカルで放送する男女の実業団駅伝や北九州マラソンのほか、2月に開催される別府大分毎日マラソン、クロスカントリー日本選手権はRKBがキーステーションとなって全国に向けて発信しています。この技術力を活かし、系列局の中継応援も行っています。

さらに、「今日感テレビ」「サンデーウォッチ」などのレギュラー番組でも競技の裏側やアスリート自身の本音に迫り、スポーツの魅力と最新情報を伝えています。



伝統的なお祭りである『博多どんたく港まつり』、『博多祇園山笠』だけでなく、新しいイベントも積極的に手がけています。特に、福岡アジアコレクション (FACo) は、福岡にとどまらず、中国、タイ、台湾、韓国と、アジアに向けても展開しています。また、福岡県内各地の博物館での様々な展覧会や、演劇・舞台はもちろん、神社での音楽イベント『音恵』など、これまでの常識にとらわれずに挑戦しています。

イベントだけではなく、スマートフォン向けの『RKBアプリ』や、「データ放送」を利用し、ビジネスモデルの特許を取得した『よんday』、さらには折り込みチラシのデータから動画を作成し、テレビとWEBで発信する『チラシビジョン』など、放送とインターネットを連動させた新しいビジネス領域の開発も行っています。



チラシビジョン

よんday
毎日の「お得」を4chのdボタンで

テレビチケ

テレビ

- | | |
|---|---|
| 1965年・「海より深き」芸術祭賞 | 1994年・「画家 八島太郎 慈しむ生命」日本民間放送連盟賞最優秀賞 |
| 1970年・「苦海浄土」芸術祭賞大賞 | 1997年・「3分間のドラマ～カラオケビデオの舞台裏」
日本民間放送連盟賞最優秀賞 |
| 1972年・「リヤ王～ある老人心理劇の記録～」芸術祭賞大賞 | 1998年・「月白の道～戦場から帰った詩人～」放送文化基金賞奨励賞 |
| 1973年・「天寿」芸術祭賞優秀賞 | 1999年・「哀しき千両役者～博多淡海父子伝～」日本民間放送連盟賞最優秀賞 |
| 1975年・「祭りばやしが聞こえる」芸術祭賞優秀賞 | 2000年・「攻防・蜂の巣城～巨大公共工事との闘い4660日～」
放送文化基金賞番組賞 |
| 1976年・「あいラブ優ちゃん」ギャラクシー賞大賞 | 2002年・「炭鉱美人～闇をともす女たち～」芸術祭大賞 |
| 1977年・「船匠」芸術祭賞優秀賞 | 2008年・「母は闘う～薬害肝炎訴訟原告 山口美智子の20年～」
芸術祭優秀賞 |
| 1978年・「草の上の舞踏」芸術祭賞優秀賞 | 2009年・「黒い樹氷～自然からの警告～」科学技術映像祭内閣総理大臣賞
・「声は消えても～心で奏でるシンフォニー」民間放送教育協会優秀賞 |
| 1980年・「鳳仙花～近く遥かな歌声」芸術祭賞大賞 | 2012年・「風を集めて～」レンズ風車”未来への挑戦”
科学技術映像祭文部科学大臣賞 |
| 1981年・「絵描きと戦争」芸術祭賞優秀賞 | 2013年・「甦る元寇の船～神風の正体に迫る」
科学技術映像祭文部科学大臣賞 |
| 1982年・「ルイズ・その絆は」芸術祭賞優秀賞 | 2017年・平和・協同ジャーナリスト基金賞大賞
「抗い 記録作家 林えいだい」 |
| 1984年・「むかし男ありけり」芸術祭賞優秀賞 | |
| 1988年・「つれあい物語～孤独老人共和国25年史」
日本民間放送連盟賞最優秀賞
・「ふりむけばアリラン峠」日本民間放送連盟賞最優秀賞 | |
| 1989年・「桜吹雪のホームラン～証言・天才打者天下弘」
日本民間放送連盟賞最優秀賞 | |

ラジオ

- 1974年・「鉛の霧」日本民間放送連盟賞最優秀賞
- 1977年・「月白の道～戦友たちへのレクイエム～軍医丸山豊の記録から～」日本民間放送連盟賞最優秀賞
- 1986年・「崖っぶちの選択～国鉄余剰人員1万1000人」日本民間放送連盟賞最優秀賞
- 2003年・「死のうなんて思っていないよ～先天性心臓病と向き合う子ども達」ギャラクシー賞優秀賞
- 2004年・「安藤豊 オトナの学校」ギャラクシー賞優秀賞
- 2006年・「ガクランを来た乙女達」放送文化基金賞番組賞・企画賞
- 2008年・「スマッシュ11～あの感動をもう一度」ギャラクシー賞選奨
- 2013年・「あべちゃんトシ坊 こりない二人」日本民間放送連盟賞優秀賞
- 2015年・「二丁目 お茶の間劇場」日本民間放送連盟賞優秀賞

アナウンサー（アノンシスト賞）

- 1977年・テレビ部門「船匠」グランダプレミオ
- 1982年・ラジオ部門「心の歌日本の歌」最優秀賞
- 2004年・テレビ読み・ナレーション部門「ニッポン女子柔道最強伝説」最優秀賞
- 2009年・ラジオスポーツ実況部門「エキサイトホークス」最優秀賞
・テレビ読み・ナレーション部門「だから僕は指揮棒を振る」最優秀賞
- 2013年・ラジオ読み・ナレーション部門「おしゃべり本棚～おじいちゃんがおばけになったわけ」最優秀賞
- 2014年・ラジオフリートーク部門「ホークス花の応援団 ココロもちもち西鉄天神大牟田線の旅」グランダプレミオ

※他入賞作品多数

技術関連

- 2003年 11月・JNN技術賞番組技術部門入賞「山登り中継」
- 2004年 11月・JNN技術賞技術・開発部門最優秀賞「送信所リモコン開発」
11月・JNN技術賞番組技術部門「ホークス優勝祝賀パレード中継」
- 2008年 11月・JNN技術賞技術開発部門最優秀賞「東京スタジアムリモートコントロールシステムの開発」
- 2009年 11月・JNN技術賞番組技術部門最優秀賞「行政VLANを利用したサイクリング移動中継」
- 2012年 11月・JNN技術賞技術・開発部門最優秀賞「コミュニケーション機能を持つラジオスタジオ用タイマーシステム“T-NAVI”の開発」
11月・JNN技術賞番組技術部門優秀賞「800M-OFDMを利用した移動LIVE中継」
11月・JNN技術賞技術・開発部門優秀賞「簡易で高効率な非常用予備空中線の製作」
- 2013年 11月・JNN技術賞番組技術部門優秀賞「東日本大震災での復興移動生中継」
- 2014年 11月・JNN技術賞技術・開発部門最優秀賞「従属同期方式のSFN環境でも使用可能な放送TSoverIP伝送装置の製作」
11月・JNN技術賞番組技術部門入賞「イベントとテレビ連動型クロマキー中継」
- 2015年 11月・JNN技術賞番組技術部門最優秀賞「ディレイループによる残像効果を利用する試み」